

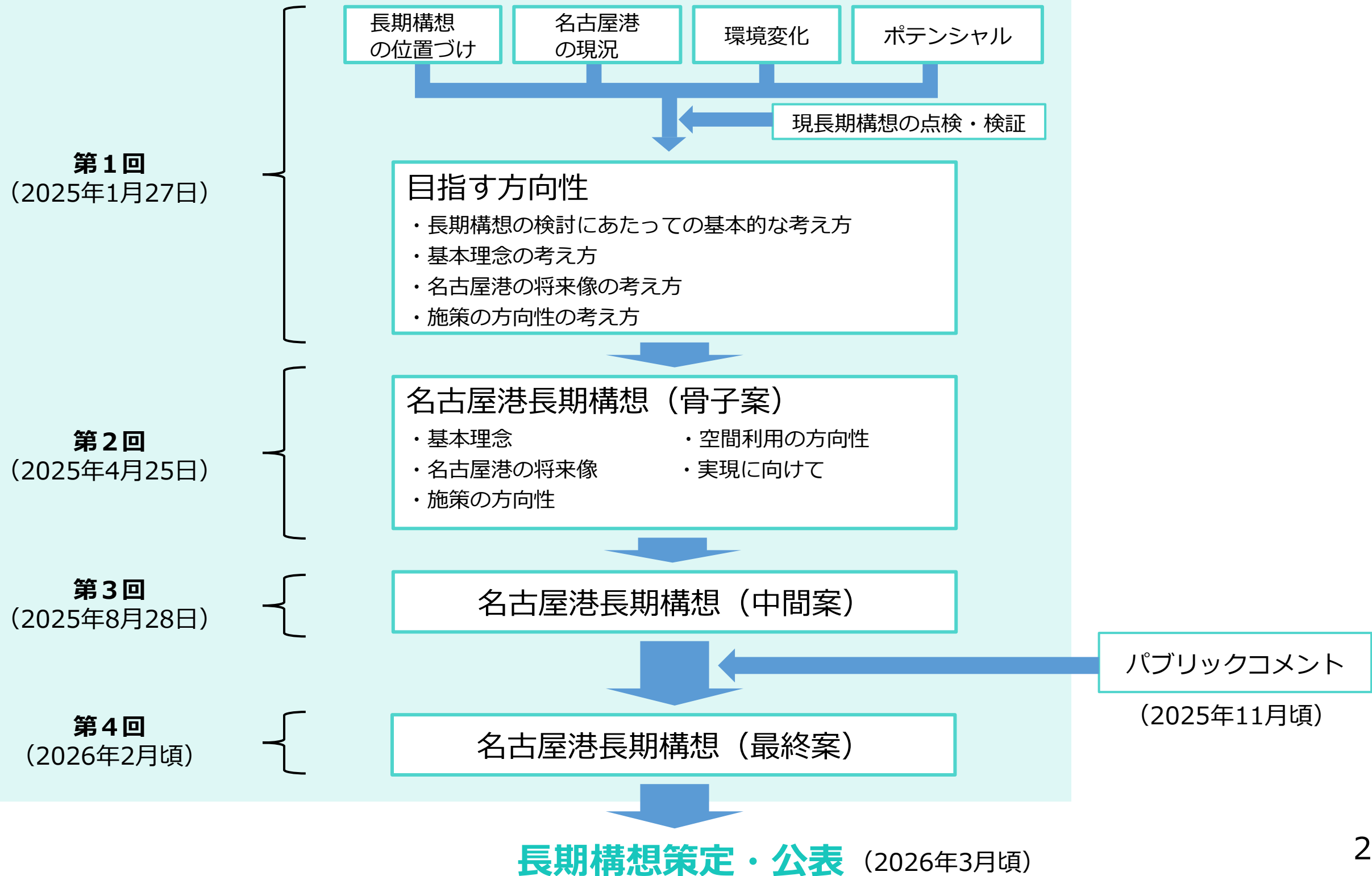
第 2 回検討委員会の意見と対応

2025年 8 月28日

第 3 回 名古屋港長期構想検討委員会

長期構想検討委員会(2024年度～2025年度)

概ね20年から30年先の名古屋港の将来像やそれを実現するための施策の方向性について検討し、長期構想の策定に関して助言を行う



第2回検討委員会の意見と対応

- 第2回検討委員会でいただいた意見を種類ごとに分類し、その対応を一覧にまとめた
- 長期構想の記載内容に関するご意見は、その趣旨を長期構想中間案に反映した
- 長期構想の具体化に関するご意見は、事業の具体化に合わせて検討していく

<長期構想の記載内容に関するご意見>

◆基本理念

No.	意見	対応
1	日本の中央に位置している名古屋が、日本の発展をリードするという姿勢は共感できるが、広く理解されるかが不安である 東京一極集中の是正に向けて、リニア時代には、名古屋が受け皿となり、名古屋港が一翼を担うということがもう少し明示できると良い	・ 中部圏が日本中央回廊の効果を最大化する役割を担い、名古屋港がその一翼を担う旨を「基本理念」に反映した
2	物流そのものの質を向上することが、新しい産業の創出や人の交流にもつながると分かるように書いてはどうか	・ 物流機能の高度化が産業の成長やにぎわいの創出など、名古屋港全体の価値創出につながる旨を「基本理念」に反映した

◆将来像、価値が高い名古屋港の姿

No.	意見	対応
3	「世界の成長するエリアと常につながっている」について、世界経済は大きく変動する可能性があるため、成長するエリアだけでなく、政治体制に伴う貨物量の変動にフレキシブルに対応できるということも入ると良い	・ 世界の成長するエリアとフレキシブルにつながることを「価値が高い名古屋港の姿」に反映した
4	南海トラフ巨大地震のリスクを意識せざるを得ないなかで、日本一の物流拠点をうたうのであれば、防災に関連した方向性の表現を強くすることができないか	・ 「安心・安全」の括りを示し、防災の方向性の表現を強調した

第2回検討委員会の意見と対応

◆施策の方向性

No.	意見	対応
5	「首都圏・近畿圏の機能を代替・保管できる基幹物流の要衝」を実現するには、移輸入の機能を強化する意味合いが含まなければならない	・ 移輸入の機能を強化する旨を、「多機能なロジスティクスハブを形成する」に追加した
6	名古屋港が地震、津波や高潮対策に取り組み、脆弱性を低くしており、リスクが少ないことを港湾立地企業と一体となってアピールしていくことも大事ではないか	・ 官民が連携して防災対策について情報発信することを「官民の連携により防護機能を強化する」に追加した
7	観光について触れられているが、もう少し主体的に、観光拠点を形成していくというくらい強めていったらどうか	・ 観光振興に資する取組を推進することを、「“みなと”と“まち”のつながりを意識した魅力ある交流拠点を形成する」に反映した
8	都心で準備し得ない空間として、アーバンリゾート空間を港湾で形成するということを書くと「みなととまちのつながりを意識した魅力ある港湾空間」がイメージしやすい	・ 都心にはない魅力ある港湾空間を形成することを「“みなと”と“まち”のつながりを意識した魅力ある交流拠点を形成する」に反映した
9	にぎわい拠点について、夜もにぎわう空間づくりを考えていただけると良い	・ いつでもにぎわうことを「“みなと”と“まち”のつながりを意識した魅力ある交流拠点を形成する」に反映した

第2回検討委員会の意見と対応

◆空間利用の方向性

No.	意見	対応
10	作業船等を係留する場所の確保についても書けないか	働く人々が休息する環境として、船舶の係留場所を確保することについて、「活力と働きがいのある環境を作り出す」に追加した
11	今後の名古屋駅から中川運河に隣接するささしまライブへのアクセス展開などを含めて、名古屋港がどのように関わっていけるのかを書くことも必要ではないか	中川運河において都心から人々が訪れる新たな水辺空間を形成する旨を「“みなと”と“まち”のつながりを意識した魅力ある交流拠点を形成する」に反映した
12	堀川の河口付近は臨港地区でもあるため、「環境・地域と共生し、安心で多彩な魅力のある港」の施策展開するエリアに含めても良いのではないか	堀川の河口は作業船等が停泊する貴重な空間であることから、新たな施策を展開するエリアには含めていないが、名古屋市のみちづくりとのつながりを意識して魅力ある交流拠点を形成していくことを記載した
13	フェリーやRORO船の係留施設は、港湾計画において、耐震強化岸壁で位置付けられるため、生産性の向上だけでなく、大規模地震対策への備えという観点で、具体的な施策イメージとして追加すると良い	フェリーやRORO船の係留施設の整備に合わせて耐震化を進めることを「施策の進め方のイメージ」に追加した
14	内港地区の再編やそれにより生じるスペースの活用の視点も入れて頂きたい	施策の進め方のイメージにおいて、スペースの活用を検討していく旨を追加した

第2回検討委員会の意見と対応

◆実現に向けて

No.	意見	対応
15	みなと緑地PPP（官民連携により港のにぎわい空間を創出するための制度）を活用しながら、より人が集まるような施策を展開して欲しい	国の制度を活かした実効性の高い具体計画を策定することを「具体計画の策定」に追加した
16	協働防護に限らず、国の制度等を名古屋港の様々な施策にうまく活かしていくことが重要で、個別でなく、全体のところで、そういう方向性を加えていただけると良い	
17	計画の実現に向けて、道路は大変重要なインフラであり、道路の関係者から助言や協力を頂けると良い	- 中長期を見据えた「中部ブロック 新広域道路交通ビジョン（R3.3）」においても、中部圏が物流で日本経済を牽引していくことを目指して取り組む方向性であることを確認した - 長期構想の実現に向けては、道路の関係者と引き続き意見交換していく
18	伊勢湾の連携は、特別な意味があると思うので、意見交換しながら新しい取組や連携を推進、促進していくような一歩踏み込んだ記述が良い	伊勢湾の港湾とは、中部の国際競争力の強化に向けて取り組むことを「国内外の様々な主体との連携」に追加した
19	ポートアイランドは中部国際空港と海底パイプラインで接続し、持続可能な航空機燃料（SAF）を提供する拠点としても使えるかと思う	次世代エネルギーのサプライチェーン構築について伊勢湾の港湾・空港と連携する旨を「国内外の様々な主体との連携」に追加した
20	名古屋港を使いたい、応援したいと思ってもらうためには、魅力的な港であることが大事であり、そのためには、世の中の状況に応じて、デジタルを上手く取り入れるなど、臨機応変に対応できることも重要である	常に新しい情報を取り入れ臨機応変に対応する旨を「迅速かつ柔軟な対応」に追加した
21	実現に向けての迅速かつ柔軟な対応について、組織内での担当の整理に読めるので、組織、体制などを将来に向けてアップデートしていく検討も必要ではないか	柔軟に組織や体制の構築、見直しを行うことを「迅速かつ柔軟な対応」に反映した

第2回検討委員会の意見と対応

◆実現に向けて

No.	意見	対応
22	経営の視点で大事なことは、収入を上げることなので、入港船舶の増加につながる機能強化を進めるような趣旨の記載を検討して欲しい	・収入の増加に努める旨を「港湾経営の視点」に追加した
23	ハード整備には、経営の視点から投資回収を考える必要があり、利用者や貨物を増やすことと合わせて、それをサポートする仕組みや制度などのソフト面も考えていけるとより現実味が増すのではないか	
24	名古屋港による関係地域への経済効果・税収効果を強く打ち出し、名古屋港への投資原資の拡充を図ることを検討して欲しい	・名古屋港への投資の拡充を図る旨を「港湾経営の視点」に追加した

<長期構想の具体化に関するご意見>

No.	意見	対応
25	次世代エネルギーの拠点形成について、長期構想の時間軸と需要家が求める時間軸が合っているのかが気になるので、今後、具体的に議論させていただきたい	・次世代エネルギーの拠点形成の具体化に向けては、関係者と議論しながら検討していく
26	金城ふ頭のクルーズ船受け入れ態勢の強化として、ターミナル整備を検討して欲しい	・クルーズ船の受入環境について、その具体化にあわせて検討していく